

2009年4月21日

東京外国為替市場委員会 第121回会合 議事録

開催日時 2009年3月24日 13:00～14:00  
場 所 日本銀行本店 新館9階中会議室  
議 長 井上 悟志  
副 議 長 久保 浩一  
副 議 長 梨本 忠彦  
書 記 岩崎 淳  
出席委員 18名

I. 任期満了・再任

井上議長より、大木委員の委員としての任期（2年）が満了することが報告されました。大木委員から委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で承認されました。

また、井上議長より、久保副議長が委員としての任期満了に伴い4月で退任することが報告され、後任については、本委員会のウェブサイト上で公募する旨、報告がありました。

II. 市場調査について

岩崎書記より、第4回目となる東京外国為替市場における外国為替取引高サーベイについて、昨年と同様のフォーマットで行うこととし、4月初旬に参加行に対して調査票および記入要領を送付する予定である旨、報告がありました。

III. 小委員会報告

1. 運営小委員会

野口準委員より、当委員会の財務・会計報告書類の形式変更について議論を行った旨、報告がありました。

2. 教育小委員会

前波小委員長より、2月16日（月）にフォレックスセミナー（「世界経済・金融市場の展望」＜BNPパリバ証券、島本幸治氏＞、「グローバル・マクロと為替の予測戦略」＜野村証券、田中泰輔氏＞）が開催された旨報告がありました。また、野口準委員より、同セミナーにかかる収支報告がありました。

### 3. 広報小委員会

大木小委員長より、ホームページの更新を行ったとの報告がありました。

### 4. BCP小委員会

岡林準委員より、外為BCPの参加者拡大について議論した結果、マーケットメーカーを中心に参加者を拡充する方向で検討を進めることとなったとの報告がありました。また、現在、本委員会が負担している外為BCPウェブサイトの運営費用について、なるべく早期に各参加者が負担する方向で検討を進めていきたいとの報告がありました。

### IV. その他

野口準委員より、不要となった Code of Conduct について、3月17日に廃棄業者を通じて処分したとの報告がありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (3月24日現在)

<委員>

議長	○井上 悟志	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○久保 浩一	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○岩崎 淳	(日本銀行)
運営小委員長	○松尾 勝	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS デイリングリソースジャパン)
教育小委員長	○前波 弘	(野村証券)
法律問題小委員長	○小林 正史	(住友信託銀行)
Code of Conduct 小委員長	○好川 弘一	(BNP パリバ銀行)
決済小委員長	小松 淳	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	小池 正道	(三井住友銀行)
	北倉 克憲	(中央三井信託銀行)
	○小田川 正知	(ゴールドマン・サックス証券)
	熱田 龍一	(バンク・オブ・アメリカ)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウフレックス上田ハーロー)
	○鰐川 義弘	(JP モルガン・チェース銀行)

<準委員>

	○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○内山 一慶	(みずほコーポレート銀行)
	○岡林 俊宏	(三菱東京 UFJ 銀行)
	○渡邊 明彦	(日本銀行)

<オブザーバー>

	○藤井 大輔	(財務省)
--	--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。